



主催： **B.R.I.** 一般社団法人 企業研究会
Business Research Institute Since 1948

共催： **AIB** 人工知能ビジネス創出協会
AI Business Creation Association

《本セミナーはWEBセミナーでも承っております。詳細は中面をご覧ください。》

『人工知能(AI)ビジネス』の 理解と法務・知財上の 留意点

開催日時：2018年3月14日(水) 13:00~17:00

会場：企業研究会セミナールーム(東京：麹町)

参加対象：法務部門、知的財産部門、情報システム部門等の関連部門のご担当者

セッション1：人工知能ビジネスの取り組み方と留意点

セッション2：「ユースケースで学ぶ、人工知能ビジネスを成功させるために押さえておきたい法的留意点と心得」
～ビッグデータの収集・利活用をめぐる法的問題点を中心に～

セッション3：人工知能ビジネスを保護可能な知的財産制度の現状と問題点

▶ 講師紹介

1968年3月 石川県に生まれる。1990年3月 東京大学工学部金属材料学科卒業。1995年3月 東京大学大学院工学系研究科材料科学専攻博士課程修了 博士(工学)取得。ベルギー・ルーベンカトリック大学研究員、北陸先端科学技術大学院大学助手、ITベンチャー企業取締役、CTOなどを経て、2015年11月よりジャパンマネジメントシステムズ株式会社代表取締役社長。上記の他、一般社団法人地域包括ケア支援事業連合会事務局長、上場企業監査役なども務める。博士(工学)、情報処理安全確保支援士、ITストラテジスト。

ジャパンマネジメントシステムズ(株) 代表取締役社長 / 人工知能ビジネス創出協会 理事 **前 一樹 氏**



99年東京大学法学部卒。東京地検特捜部、ワシントン大学客員研究員、法務省刑事局等を経て、14年弁護士登録。検事としての捜査・公判経験、法務省刑事局総務課における危機管理やマスコミ対等の経験を活かし、上場会社の会計不正事案に関する第三者委員会委員、インサイダー取引・相場操縦等の金商法違反事案等の調査対応、危機管理広報法務、ソーシャルリスク対応などの有事対応のほか、平時のコンプライアンス体制の構築、内部通報制度の構築・運用等に関する助言等を行う一方で、近時はAIを活用したビジネス創出に関する法務も取り扱っている。

渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 シニアパートナー 弁護士 / 人工知能ビジネス創出協会 理事 **早川 真崇 氏**



1972年4月 埼玉県に生まれる。1996年3月 早稲田大学理工学部土木工学科卒業。1998年3月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了。建設会社勤務を経て、2001年3月磯野国際特許商標事務所に入所。2003年11月弁理士登録、2008年1月特定侵害訴訟代理業務付登録。2014年4月、事務所の法人化に伴い代表社員(所長)に就任。特許等の出願業務、権利化業務、侵害訴訟業務に従事。

特許業務法人磯野国際特許商標事務所 代表社員 / 人工知能ビジネス創出協会 理事 **町田 能章 氏**



セッション1

講師：前一樹氏

人工知能ビジネスの取り組み方と留意点

人工知能は様々な業界のビジネスを変革する技術として注目ごく極一握りです。十分なリソースを社内に持たない多くの企業にとって、現時点で活用可能な人工知能の技術やサービスはどのようなものでしょうか？ また人工知能ビジネスに取り組むに当たって留意すべき点はどのようなことでしょうか？ 本講座ではこれらについて解説いたします。

1. AIで何ができるようになったのか

- (1) AI 開発の歴史
- (2) IoT・ビッグデータとの関係
- (3) 第4次産業革命とは
- (4) 職業がなくなる？

(2) 差別化について考える

- (3) 法的留意点
- (4) 知財的留意点

2. AIをビジネスに導入するにあたっての留意点

- (1) プロジェクトの立ち上げについて

3. AIを導入しやすいケースとは

セッション2

講師：早川 真崇氏

ユースケースで学ぶ、人工知能ビジネスを成功させるために押さえておきたい法的留意点と心得

～ビッグデータの収集・利活用をめぐる法的問題点を中心に～

1. 人工知能 (AI) に関わる法的問題点の概観

- (1) 中長期的なAIをめぐる法的問題点の外観
- (2) 論点整理～AIの自律的作用をめぐる特有の論点
 - ・AI創作物と知財
 - ・AIにより自動集積されたデータベースの取扱い
 - ・ロボット、自動走行をめぐる問題点 など

2. AI技術の活用による事業化を検討する上でのポイント

3. AIビジネスに必要な要素～IoT、ビッグデータとの関係

4. ビッグデータの収集・利活用に当たっての法的留意点

- (1) 「営業秘密」(不正競争防止法) 侵害リスク
- (2) 著作権侵害リスク
- (3) 個人情報保護法違反リスク
- (4) 不法行為該当リスク (プライバシー、肖像権侵害等)
- (5) データ取引に関する契約上の留意点
- (6) その他

5. ユースケースで学ぶ、人工知能ビジネスを成功させるために押さえておきたい法的留意点と心得

- (1) モデル① (公益が主目的、個人情報等を含まないユースケース)
- (2) モデル② (事業者の収益向上が主目的、個人情報等を含まないユースケース)
- (3) モデル③ (公益が主目的、個人情報等を含むユースケース)
- (4) モデル④ (事業者の収益向上が主目的、個人情報等を含むユースケース)
- (5) 取引事例に関する法的留意点
- (6) 人工知能ビジネスを成功させるためのプラスアルファの配慮事項

セッション3

講師：町田 能章氏

人工知能ビジネスを保護可能な知的財産制度の現状と問題点

人工知能の利活用が進むにつれて、学習済みモデルやAI創作物(人工知能により生み出された創作物)など新たな情報財への関心が高まり、これら情報財の保護の在り方についての議論が進んでいます。

本講座では、知的財産戦略本部・新たな情報財検討委員会報告書、特許審査基準に追加されたAI関連発明の事例を踏まえつつ、人工知能ビジネスに必要なデータや学習済みモデル、さらにはAI創作物について、知的財産権による保護の現状と問題点をご紹介しますとともに、人工知能ビジネスにおける知財戦略をご紹介します。

1. はじめに

・本講座における人工知能のイメージ

2. 知的財産権の基礎

- (1)特許権(特許制度の概要、保護対象、特許要件、ソフトウェア関連発明の概要)
- (2)プログラム、データベースに関する著作権
- (3)不正競争防止法(営業秘密)

3. データ、学習済みモデルは保護されるのか？

- (1)データ、データセットの発明該当性(審査基準の事例紹介)
- (2)学習済みモデルの保護の可能性
- (3)学習済みモデルの発明該当性(審査基準の事例紹介)
- (4)「派生モデル」と「蒸留」を巡る特許上の問題点

4. データ、学習済みモデルは誰のモノ？

- (1)データ・オーナーシップ
- (2)学習済みモデルは誰のモノか
- (3)共同開発契約における知財上の留意点

5. AI創作物を巡る知財上の問題点

- (1)AI創作物は保護されるのか？
- (2)人工知能が提案した化合物・医薬は特許されるか？

6. 人工知能ビジネスにおける知財戦略

- (1)オープン・クローズ戦略の概要
- (2)人工知能ビジネスのオープン・クローズ戦略
- (3)法改正の動向

【WEBセミナーとは】



WEBセミナーは、企業研究会で開催するセミナーを収録し、「WEBセミナー配信期間」中にパソコンやスマートフォン等で視聴できるサービスです。

セミナーに参加したいが開催日に予定がある、開催会場が遠方で参加が難しい、など、様々な制約がある方にお勧めいたします。(※WEBセミナーは、セミナー当日の様子を簡易編集して提供するものです。) 講義資料はPDF資料での提供となりますが、都合により、セミナー当日の映写使用/配布資料と異なる場合がございます。

また、講師への質問は、お受けすることができません。予めご承知置き下さい。

【WEBセミナー視聴に関する注意事項】

- 1.ご使用のパソコン/ネット環境のセキュリティ設定、動作環境によっては視聴できないことがあります。お申込の前に企業研究会WEBサイト内で試聴動画を確認した上でお申込下さい。
- 2.お申込み1名様に対して、1つのID・パスワードを発行致します。1つのIDの複数名での利用、プロジェクタ等での上映はお断りしております。詳しくは企業研究会WEBサイト内で「利用規約」をご確認ください。
- 3.WEBセミナーは協力会社である株式会社ファシオのイベント配信プラットフォーム「Delivaru」使用致します。お申込者様のメールアドレスを(社)企業研究会と株式会社ファシオで共有致します。

【WEBセミナーお申込の前に】

- ①企業研究会WEBサイト内『WEBセミナー利用規約』を必ずご確認ください。
- ②企業研究会WEBサイト内にございます**確認用試聴動画**にて動作確認をしてください。
※試聴が出来ない方は本セミナーをご利用いただけません。

▶会場参加要項

■ **会場参加** (企業研究会セミナールームにて開催) **受講料**

事業コード：172957

正会員	一般
41,040円 (本体価格38,000円)	43,200円 (本体価格40,000円)

■ **申込方法**

当会ホームページからお申し込み下さい。(https://www.bri.or.jp)

◆ あるいは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りいただくか、下記担当者あてEメールにてご連絡下さい。

※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

◆ 着信確認のご連絡後、受講票・請求書をお送りします。

◆ お申込後のキャンセルはお受けしかねます。ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

▶WEBセミナー受講要項

■ **配信期間:2018年3月20日(火)～4月9日(火)**

■ **WEBセミナー受講料**

事業コード：173059

正会員	一般
34,560円 (本体価格32,000円)	37,800円 (本体価格35,000円)

■ **申込方法**

WEBセミナーでの受講をご希望の方は、2018年3月7日(水)までに、当会ホームページからお申込みください。(https://www.bri.or.jp)

後日、ID/パスワードをお送りします。

◆ お申し込みの前に再度、中面の注意事項をご確認下さい。

申込書

申込日/2018年 月 日

ご希望の受講方法に チェックして下さい。	<input type="checkbox"/> 会場参加 172957	<input type="checkbox"/> WEB 173059
会社名		
会社所在地		
TEL	FAX	
所属・役職名	氏名 (フリガナ)	
E-mail		

■ **お申し込み・お問い合わせ先**

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL : 03-5215-3514 FAX : 03-5215-0951 E-mail : tamiaki@bri.or.jp

一般社団法人 **企業研究会** 公開セミナー事業グループ 担当：民秋 (たみあき)